

---

# 寄生虫検査

# 寄生虫検査(学校保健分野)の実施成績

東京都予防医学協会検査研究センター

## 実施状況

2006(平成18)年度は77,690件(寄生率0.45%)の  
ぎょう虫検査を実施した。

東京都予防医学協会(以下「本会」)は、糞便検査  
を主体とする検査機関(東京寄生虫予防協会)として  
1949(昭和24)年に発足し、1969年頃までは糞便検査  
を年間10～93万件実施してきた。しかし、1973年の  
学校保健法の一部改正により、中学校以上の寄生虫  
検査(ことに糞便検査)実施の義務づけが省略されこ  
とにより、翌年からは検査数が大きく減少した。さ  
らに、1994年には再び学校保健法が改正され、寄生  
虫検査は小学校低学年を対象としたぎょう虫卵検査  
のみの実施となり、翌年からの検査数は近年の児童  
生徒数の減少とあいまって減少し続けた。2002年度  
からは糞便検査について全く実施されなくなった。

表1は、2006年度のぎょう虫卵検査の校種別、地  
区別の総合成績を示した。幼稚園・保育園の寄生  
率は特別区が0.27%、多摩地区は0.22%で特別区が  
0.05%高かった。島しょ地区では保卵者は見つからな  
かった。次に小学校の寄生率は特別区が0.45%、多摩  
地区では0.69%で特別区より0.24%高く、前年と比べ  
特別区は変化がなかったが、多摩地区では約0.3%高  
くなっていた。島しょ地区では幼稚園・保育園と同  
様に保卵者は見つからなかった。養護学校、特殊学  
校については、検査件数も少なく保卵数は見からな  
かった。幼稚園・保育園と小学校の寄生率を比較す  
ると特別区は約2倍、多摩地区は約3倍と小学校が高  
かった。

表1 ぎょう虫卵検査成績

(2006年度)					
学校区分	地区名	園・ 学校数	被検査者数	保卵者数	寄生率 %
幼稚園 保育園	特別区	110	12,269	33	0.27
	多摩地区	23	2,718	6	0.22
	島しょ	6	237	0	0.00
	合計	139	15,224	39	0.26
小学校	特別区	193	48,926	222	0.45
	多摩地区	36	13,146	91	0.69
	島しょ	8	269	0	0.00
	合計	237	62,341	313	0.50
養護学校 特殊学校	特別区	3	79	0	0.00
	多摩地区	1	46	0	0.00
	合計	4	125	0	0.00
合計	特別区	306	61,274	255	0.42
	多摩地区	60	15,910	97	0.61
	島しょ	14	506	0	0.00
	合計	380	77,690	352	0.45

表2は、1949年度から2006年度までの寄生虫検  
査の年度別件数を示した。糞便とぎょう虫の検査件  
数は1962年度に100万件を初めて突破し、1969年度  
に1,347,414件でピークに達した以後は年々減少続け、  
2002年度には10万件を下回り2003年度から本年度  
までの4年間は7万件台でほとんど変化はない。また、  
寄生率については0.45%で前年より0.04%高かったが、  
2003年以降は0.4%台で推移している。

図は1975年から2006年度までの年度別・虫卵別  
の寄生率の推移を示したが、年度別による検出率を  
みると糞便検査については大きな変化がみられるが、  
ぎょう虫卵検査は1995年度以降漸減傾向となってい  
たが、2003年度からは横這い状態で推移している。

(文責 白石 一美)

表2 Annual Number of stool Examination for Parasites  
by Tokyo Health Service Association (年次別検査件数)

(1949～2006年度)

Year (年)	Number (実施件数)				Total (合計)
	Stool Smear Examination (糞便検査)	Positive rate % (寄生率)	Scotch Tape Technic (ピンテープ法)	Positive rate % (寄生率)	
1949	101,875	72.0 %		%	101,875
1950 (昭和25年)	282,100	61.4			282,100
1951	428,055	50.4			428,055
1952	428,071	41.5			428,071
1953	470,703	32.0			470,703
1954	506,713	22.3			506,713
1955 (昭和30年)	491,039	15.3	302	28.5	491,341
1956	514,081	12.9	1,587	35.3	515,668
1957	557,384	14.4			557,384
1958	697,378	11.6			697,378
1959	735,510	8.9	21,247	25.6	756,757
1960 (昭和35年)	867,087	6.8	34,243	22.3	901,330
1961	927,762	6.3	70,971	21.7	998,733
1962	931,302	4.5	112,556	17.0	1,046,093
1963	783,375	3.8	277,739	16.3	1,077,822
1964	812,016	2.8	397,560	13.6	1,209,576
1965 (昭和40年)	784,412	1.9	445,109	9.6	1,229,521
1966	751,739	1.7	518,585	7.6	1,270,324
1967	717,336	0.7	549,662	6.6	1,279,375
1968	687,148	0.7	581,316	7.7	1,268,462
1969	683,067	0.59	664,347	6.5	1,347,414
1970 (昭和45年)	629,082	0.42	706,480	5.2	1,335,562
1971	546,521	0.44	759,557	4.96	1,306,078
1972	392,748	0.26	746,203	4.13	1,138,951
1973	238,173	0.19	656,517	3.68	894,690
1974	80,046	0.28	558,560	3.36	638,606
1975 (昭和50年)	64,730	0.30	461,791	3.39	526,521
1976	53,957	0.51	451,184	3.38	505,141
1977	52,820	0.59	452,227	2.98	505,047
1978	52,534	0.16	463,692	3.07	516,226
1979	52,312	0.10	488,099	3.05	540,411
1980 (昭和55年)	47,373	0.13	480,701	3.20	528,074
1981	47,498	0.15	473,859	3.24	521,357
1982	34,414	0.08	418,115	2.89	452,529
1983	40,454	0.10	432,502	2.60	472,956
1984	37,986	0.08	414,924	2.32	452,910
1985 (昭和60年)	31,431	0.09	385,718	2.02	417,149
1986	22,073	0.07	369,160	2.39	391,233
1987	19,802	0.05	350,179	2.40	369,981
1988	17,677	0.02	332,496	2.09	350,173
1989	17,574	0.02	322,507	2.17	340,081
1990	15,889	0.09	297,308	2.07	313,197
1991	11,858	0.03	266,181	2.18	278,039
1992	12,305	0.11	253,324	2.16	265,629
1993 (平成5年)	9,767	0.08	242,075	1.93	251,842
1994	9,626	0.07	221,650	2.03	231,276
1995	2,485	0.08	180,739	2.06	183,224
1996	1,932	0.05	177,274	1.57	179,206
1997	1,937	0.41	150,673	1.26	152,610
1998 (平成10年)	1,957	0.20	144,269	1.15	146,226
1999	2,052	0.05	140,851	0.93	142,903
2000	2,110	0.09	138,585	0.79	140,695
2001	672	0.00	112,364	0.62	113,036
2002	0		91,861	0.57	91,861
2003 (平成15年)	0		71,576	0.42	71,576
2004	0		76,467	0.44	76,467
2005	0		77,543	0.41	77,543
2006			77,690	0.45	77,690

図 寄生虫卵別の検出率の年次推移

(1975~2006年度)

